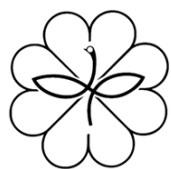




二上山を背にした
叡福寺の遠景



民児協太子

太子町民生委員児童委員協議会
会長 伊庭 純夫

編集 太子町民児協広報部会
事務局 太子町役場健康福祉部福祉課
Tel:0721-98-5519



第27回 ふれあい広場に参加



今年も多数のお年寄り・子どもが集まってくれ、4月14日開催されました。
民児協も模擬店とお抹茶の接待で参加しました。
ふれあいの輪が大きく広がりました。



★★ お知らせ ★★

こんべいとう広場

保育園の園庭開放

受付時間：午前9時45分～午前10時

月	やわらぎ	松の木
5月	23日(水)	8日(火)
6月	27日(水)	12日(火)
7月	25日(水)	10日(火)

心配ごと相談

役場福祉課相談室

午後1時30分～午後3時

5月	10日(木)	25日(金)
6月	11日(月)	25日(月)
7月	10日(火)	25日(水)

主な内容

- ・ふれあい広場に参加 P1
- ・災害シリーズ 第1回 P2
- ・学校の卒業・入学式 P3
- ・児童下校時見守り など P4





災害

1. 近い将来発生の恐れがある 南海トラフ巨大地震！

政府は 2 月 9 日、南海トラフ地震について、今後 30 年以内の発生確率を 70~80%に引き上げることを公表した。民児協でもこの問題に取り組み、『①南海トラフ地震の概要』、『②地震発生前の備え』、『③地震発生時・発生後の対応』の 3 回シリーズで考えたい。

【南海トラフ地震の概要】

(1) 南海トラフとは

四国の南の海底にある水深 4000 メートル級の深い溝（トラフ）のことで駿河湾から日向灘沖までの広範囲におよぶ大規模で地震発生帯である。

(2) 過去の地震

南海トラフの各所では M（マグニチュード）8 クラスの巨大地震が約 100 年~150 年で繰り返し発生している。1854 年安政東海地震、1944 年東南海地震、1946 年南海道地震

(3) 地震の規模

最大で M9.1 程度を想定。太子町でも最大で M7 程度を予想（阪神淡路大震災 M7.3）関東から九州の太平洋沿岸部に 10 メートルを超える大津波が襲来

(4) 最悪の被害想定

死者 32 万 3000 人、建物全壊・焼失 230 万 6000 棟、経済被害 220 兆 3000 億（東日本大震災の 10 倍を超える）



昨年 10 月、長雨と台風 21 号の豪雨で自宅が床下浸水しました。ニュース等で台風情報を得てはいましたが、避難指示が発令されるに至って尋常でないと感じていました。その矢先、隣から「水が出て大変」と声を掛けられ、外に出ると通風口から浸水しており、急いでビニール袋と園芸用土で塞ぐと共に、役場に連絡して土のうを積んで貰う事でした。この間、流水が自宅を通り国道と広場に向け滝の如く集中して流れ出す光景は目を疑う程でした。原因は飛鳥川からの仕切の不備で流れ込んだ事が判り、本来の流れに戻す事で止まっ



2. 想定外の出来事 ~大雨が襲ってきた~



た次第です。ご近所や役場の方々にご懸念対応頂いた結果、被害を最小限に抑える事が出来ました。太子町に住んで 40 年程になりますが、高台にある自宅が浸水する「想定外の出来事」でした。昨今の自然災害はこれまでの経験を超えて襲ってきます。今回の水害で普段の備えの大切さと、周囲の方々の支援の有り難みを実感しました。

3. 太子町総合防災 訓練に参加して



2 月 25 日、防災訓練が総合グラウンドでありました。浅野町長の「災害を身近なものとしてとらえ、この訓練を有意義なものにしよ」との発声があり、町民によるバケツリレー、消火訓練などを行いました。さ

らに消防署による倒壊家屋からの救出訓練、一斉放水訓練などがありました。地震車で震度 6 の地震体験もしましたが、とても揺れが激しく立つことはできませんでした。

今回の訓練で「自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る」という気持ちを持強くもち、各自で地震に対する備えを行うとともに、各町会の自主防災組織の見直しをしていく必要があると感じました。

ホッとひといきコーナー



問題 ある 4 人の兄弟の年齢を全部かけると 14 になるという。

4 人はそれぞれ何歳なのだろう？

むろん年齢に半端などない。

子ども達にも、別れと新たな出会いがやってきました

卒園、卒業式。 純粹な気持ちで素直にうたう美しい歌声にいつも感動します。友だちに、先生に、家族に感謝の言葉を伝える子どもたち。中には涙があふれるのをこらえながら、一生懸命歌っている姿に、こちらでも感動してハシカチがはなせません。

そして、入園、入学式。 緊張しながら座っている子どもたちと、ふと目が合った時、「がんばれ！」と心のなかでエールを送ると、ちよつとホッとした表情になるのです。

太子町の子どもたちが、友だちと先生と家族と地域の人々と共に、元気で仲良く、のびのびと育っていくことを願ってやみません。

感動の卒園 卒業式



松の木保育園

喜び溢れる入園 入学式



やわらぎ幼・保育園



町立幼稚園



磯長小学校



山田小学校



太子町立中学校



卒園・卒業者 入園・入学者

やわらぎ幼・保育園	52人	70人
松の木保育園	25人	15人
町立幼稚園	25人	18人
山田小学校	40人	28人
磯長小学校	92人	74人
町立中学校	160人	124人





太子中学校 社会科学部 最優秀賞 受賞

町広報誌等で、社会科学部の活躍を知り、3月23日中学校を訪ねました。

社会科学部の体制は、科学部：5研究班・社会部：2研究班・地域連携部：1研究班からなり、部員は原則複数の研究に携わっています。

紙面枠の関係で今回は、残念ですが、科学部の活動のみ報告します。

科学部の5研究班とは、

- ① カワバタモロコの繁殖生態の研究。
- ② 太井川のホタルの研究。
- ③ 二上山古代池の生物研究。
- ④ 石川のヨシノボリとシマドジョウの研究。
- ⑤ 流域についての研究。

で、太井川班と古代池班は昨年9月、「中高生の科学フォーラム」で成果を発表しました。全国から選ばれた中学校2校の内の1校です。また、11月にはカワバタモロコ班が大阪府学生科学賞中学校の部で最優秀賞（読売新聞社賞）を受賞。今年に入っても、筑波大学より「科学の芽」奨励賞を受けています。

部員たちからは、「調査結果をまとめる作業が一番楽しい。」「しんどいこともあったけどやってみて良かった。」「賞からもれた班員からは「自分たちも選ばれるよう頑張る。」「というような声が聞かれました。部員たちはお互い切磋琢磨し合って頑張っています。」



高齢者交流サロン

～ 朝子庵 ～

2月19日、永田地区にある朝子庵を訪問すると、北海道知床半島の斜里町から生活支援体制整備の視察に来られており、楽しい話で盛り上がっていました。

この朝子庵は空家を活用したサロンで、火・水・金の午前10時～午後2時まで自由に利用できます。

サロンでは、コーヒーを飲みながら交流を深めるとともに、生け花や絵手紙、お菓子作りなど、利用者さん同志で色々な活動をされています。



また、昼食を皆で出前を取るのも楽しみのひとつとなり、笑顔の溢れる交流の場でした。

朝子庵では、高齢者だけの利用ではなく、地域の方が集える場を目指して取り組まれています。

児童下校見守り

初夏の陽ざしの下、小学校の新学期が始まりました。

私達、民生・児童委員は、昨年から通学路確認を目的とした集団下校に参加しています。

真新しいランドセルを背負った新1年生に「学校は、どう？」と声をかけると、「楽しい」と答える子、にこっとほほえむ子、いろいろな

表情に出会うことができ、私達の心が豊かになる帰りの道でした。



編集後記

3月11日、夕方のテレビで高知県黒潮町の小学生たちが、防災教育の一環として校長先生が作った「自分の命は自分で守る」を合唱していた。黒潮町は南海トラフ地震の発生時には、34・4メートルの津波が予想される地域です。小学生たちの防災意識を高めるために、日頃から声を出して訓練しているという。
地震の恐ろしさは、二つの大震災の惨状を見聞きして十分わかっていて。一方、「太子町は150年以上被災していない安全な町や」という一種の神話が根強くあります。
神話を崩し、被災時、自然と自分の命が守れるよう常日頃より訓練を重ねることがなにより大事だと思います。